

第2章 川西市水道事業の概要

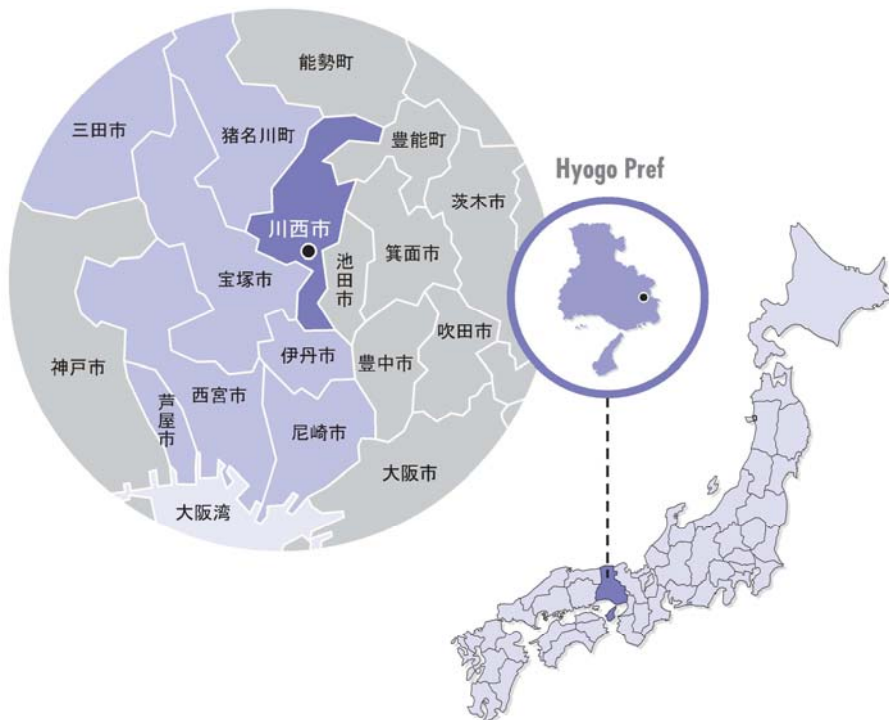
1 川西市の概況

川西市は兵庫県の東南部に位置し、東は大阪府池田市と箕面市に、西は宝塚市と猪名川町、南は伊丹市、北は大阪府能勢町と豊能町に隣接しています。地形は南北に細長く、一級河川猪名川が市の中心部を流れて大阪湾に流下しています。

南部は概ね平たん地で、阪急電鉄川西能勢口駅および JR 川西池田駅を中心として市街地を形成しており、中部から北部にかけての丘陵地には能勢電鉄が敷設され、大阪や神戸を通勤圏とする自然環境に恵まれた住宅都市として発展しています。

また、北部は山岳の起伏に富み、自然環境に恵まれている一庫ダム周辺地域は猪名川渓谷県立自然公園に指定されています。

人口	160,823 人	(平成 20 年 3 月 31 日現在)
世帯	64,916 世帯	(平成 20 年 3 月 31 日現在)
面積	53.44 平方キロメートル	
位置	東経 135 度 25 分 12 秒	
	北緯 34 度 49 分 37 秒	



2 川西市水道事業の沿革

1) 水道の創設

昭和 29 年の市制施行前、川西町の水事情は丘陵地では地下水が乏しく人口増に伴う生活用水に不足をきたし、低地部でも猪名川の河床低下により井戸の湧水量が減少していました。

このような状況から、昭和 20 年代後半に町営水道布設の要望が高まり、昭和 28 年 4 月に計画給水人口^(注1)20,000 人、計画 1 日最大給水量^(注2)5,000 m³とする「川西町上水道事業」の創設認可を得ました。

しかしながら、事業実施準備中の昭和 28 年 9 月に台風 13 号で井戸が被害を受け極度の水不足に陥り、急遽、暫定措置として池田市から浄水の分水を受け、昭和 29 年 2 月に給水量 1,000m³、給水戸数 500 戸の規模で給水を開始しました。

それから約 4 年の後、松山浄水場が完成し、これより池田市からの分水に終止符を打ち、昭和 33 年 1 月から待望の自己水源による給水を実施することができました。



創設期における松山浄水場竣工式風景（昭和 32 年 11 月）

2) 事業の拡張

昭和 30 年代後半から 50 年代において、高度経済成長と共に都市での一般住宅の減少による郊外への人口流出が進むドーナツ化現象が起きました。これに伴い、川西市においても急速な人口増により水需要が急激に増加し、水道事業においては施設能力の不足が問題化しました。

(注 1) 給水人口

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいう。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれない。水道法に規定する給水人口は、事業計画において定める給水人口（計画給水人口）をいう。

(注 2) 1 日最大給水量

年間の一日給水量のうち最大のものを一日最大給水量 (m³/日) といい、これを給水人口で除したものを一人一日最大給水量 (L/人/日) という。

これに対応するため、昭和 35 年に第 1 期拡張事業認可を取得して以降、昭和 57 年に取得した第 4 期拡張事業認可まで、4 期にわたる事業拡張を実施し、計画 1 日最大給水量を 90,100m³まで増量して市内全域に安定給水できる設備体制を整備してきました。

その後、平成元年に第 5 期拡張事業認可、平成 12 年に同拡張事業認可第 1 回変更、さらに平成 18 年に同拡張事業認可第 2 回変更を取得し施設整備の拡充を図りました。

現在、計画給水人口 185,000 人、計画 1 日最大給水量 90,100m³の事業規模で運営しています。

水道事業拡張の経過（概要）

事業名	(認可)年 月	計画給水人口	計画 1 日最大給水量	記事（事業計画その他）
川西町上水道事業創設認可	S28 年 4 月	20,000 人	5,000m ³	
	S29 年 8 月			川西町、多田村、東谷村合併により川西市誕生
	S29 年 2 月	500 戸	1,000m ³	台風被害による暫定措置として池田市から分水受水
	S33 年 1 月			松山浄水場が完成し自己水の給水開始
川西市水道事業第 1 期拡張認可	S35 年 12 月	34,000 人	8,500m ³	高芝水源を譲り受け
川西市水道事業第 1 期拡張変更認可	S37 年 4 月	34,000 人	8,500m ³	高芝水源の位置変更 高芝浄水場の新設を計画
川西市水道事業第 2 期拡張認可	S38 年 12 月	81,000 人	28,500m ³	滝山取水場の新設を計画 滝山浄水場の新設を計画
	S39 年 3 月			高芝浄水場が完成し給水開始
	S42 年 4 月			滝山浄水場が完成し給水開始
北部水道事業創設認可	S46 年 3 月	93,000 人	35,340m ³	配水池 7 箇所の新設を計画 高架水槽 3 箇所の新設他を計画
川西市水道事業第 3 期拡張認可	S49 年 3 月	73,500 人	33,060m ³	県営水道から 4,560m ³ /日の受水を計画
川西市水道事業第 3 期拡張変更認可	S51 年 3 月	76,600 人	36,000m ³	久代浄水場、浅井戸および深井戸を新設し自己水 11,000m ³ /日確保を計画 県営水道受水 4,560m ³ /日の北部水道事業への振替
	S52 年 11 月			高芝浄水場を廃止
	S53 年 4 月			久代浄水場の一部が完成し給水開始
	S55 年 3 月			久代浄水場が完成
川西市水道事業第 4 期拡張認可	S57 年 7 月	204,200 人	90,100m ³	北部水道事業を廃止し川西市水道事業に統合 松山浄水場を廃止し滝山浄水場に統合を計画 県営水道受水を 54,100m ³ /日に増量
	S57 年 10 月			県営多田浄水場が完成し県営水道受水開始
	S59 年 3 月			一庫ダム完成
川西市水道事業第 5 期拡張認可	H1 年 3 月	177,000 人	90,100m ³	多田院取水場と市営多田浄水場の新設を計画
	H1 年 10 月			松山浄水場、滝山浄水場を廃止 県営水道に浄水処理委託開始
川西市水道事業第 5 期拡張第 1 回変更認可	H12 年 10 月	185,000 人	90,100m ³	給水区域の拡張（横路・国崎の一部他）
川西市水道事業第 5 期拡張第 2 回変更認可	H18 年 3 月	185,000 人	90,100m ³	東久代水源位置を変更

施設整備の状況（平成19年度末）

